

【国】第2期『総合戦略』に係る基本方針

- 地方創生の次のステージとして、新たに5カ年（2020～2024年度）の総合戦略を策定する
 - 長期ビジョン（人口等の将来展望）については、大きな見直しは行わず時点修正のみ行う
 - 地方公共団体に対しては、国の第2期総合戦略等を踏まえ、切れ目なく改訂を行うよう要請
- ※引き続き「地方創生版・三本の矢」（情報支援、人材支援、財政支援）を実施



＜次期戦略への新たな視点＞

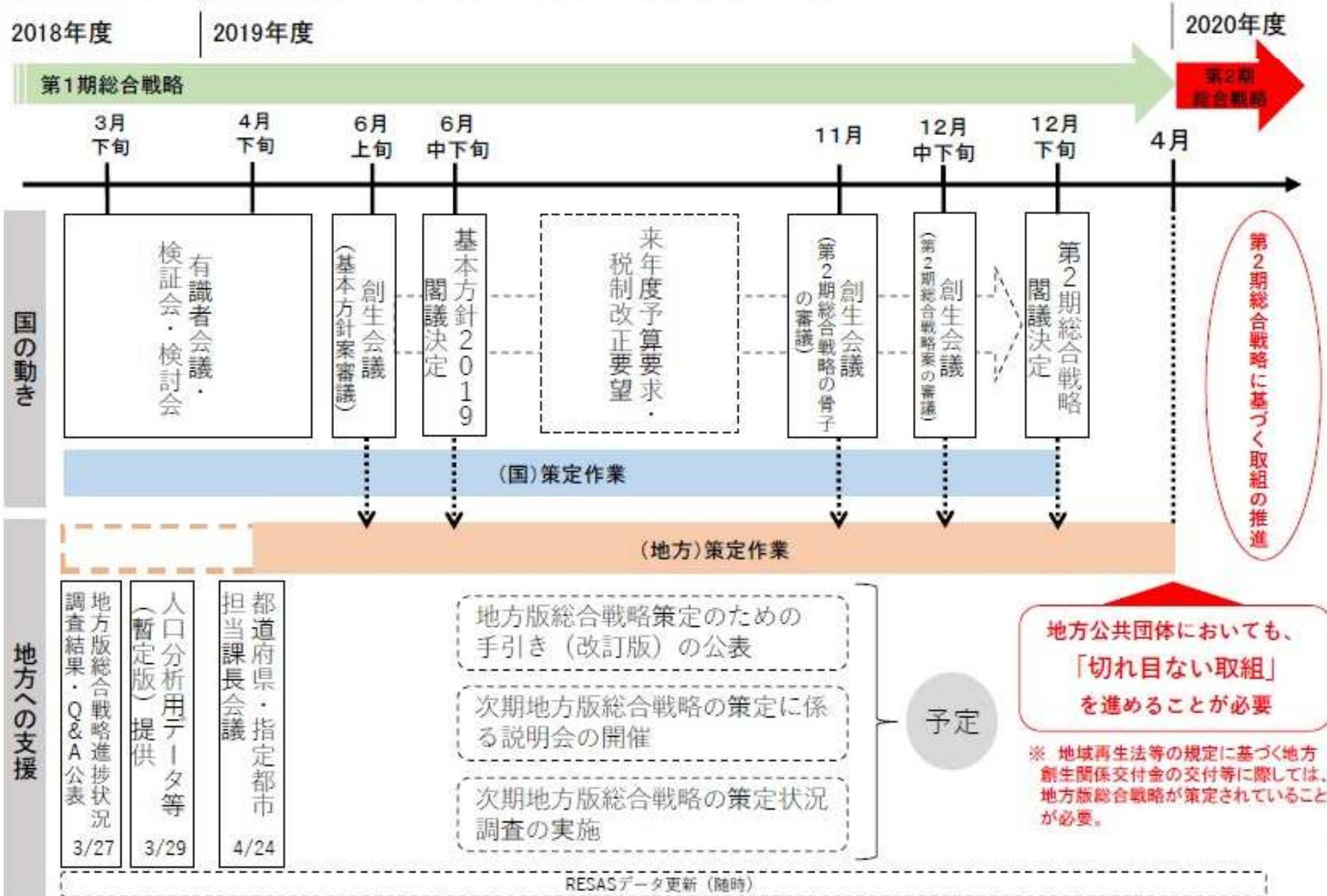
- ◆ 将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大
- ◆ Society5.0の実現に向けた技術の活用
- ◆ SDGsを原動力とした地方創生
- ◆ 地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業との連携
- ◆ 女性、高齢者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会の実現
- ◆ . . .



国の第2期総合戦略策定スケジュール

第2期「総合戦略」の策定スケジュール（案）

※ 国の動き(創生会議、基本方針・総合戦略(閣議決定))は、昨年度実績と同様となることを想定して作成。

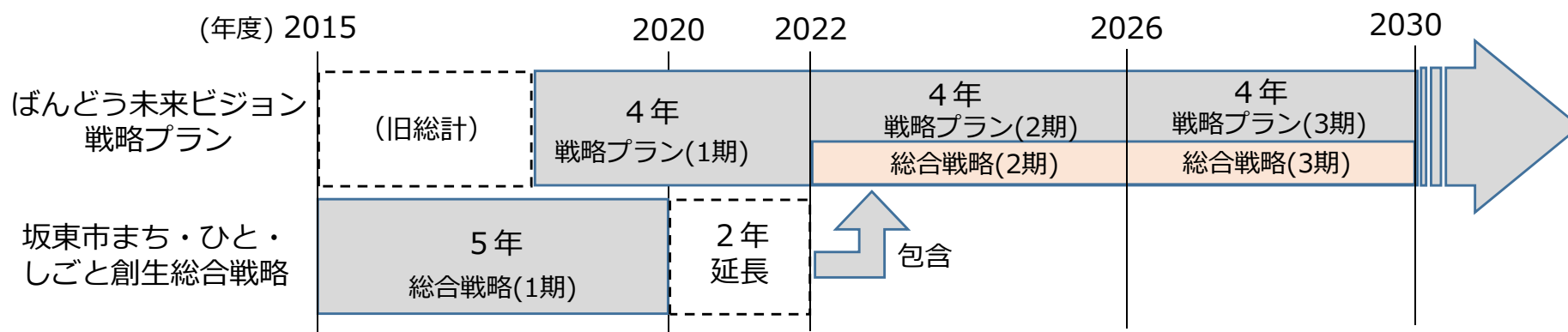


【坂東市】第2期『坂東市総合戦略』策定に係る課題

1. 上位計画である『ばんどう未来ビジョン』との計画期間・内容・目標値の相違【政策の整合】
2. 計画策定に要する経費（アンケート調査や計画案作成支援費用）の負担【類似事業の統合】
3. 計画策定に係る事業実績報告や会議開催等による庁内各部課等への負担【業務の効率化】

<課題を踏まえた対応方針（案）>

現行の『総合戦略』の計画期間を2021年度まで（2年間）延長するとともに、**2021年度に策定予定の次期『ばんどう未来ビジョン戦略プラン』に包含して策定する。**



（策定イメージ）

- ◆これまで『総合戦略』に記載していた施策（少子化対策や移住・定住促進に係る施策等）は、次期『ばんどう未来ビジョン戦略プラン』内に(仮)「まち・ひと・しごと創生プロジェクト」として掲載（プラン本編より抜粋）
- ◆同プロジェクトに引き続きK P I〔重要業績評価指標〕を設定し、外部検証機関である「坂東市まち・ひと・しごと創生有識者会議」においてフォローアップを実施
- ◆国の支援（地方創生推進交付金等）を適切に活用できるよう、国が示す新たな方針等を注視し、必要に応じて適宜記載内容の見直しを実施

(参考) 次期総合戦略策定に関する県内市町村の動向

項目		市町村数	割合	備考
策定時期	2018年度以前	2	4.5%	神栖市、行方市
	2019年度	35	79.5%	
	2020年度	5	11.4%	常総市、牛久市等
	2021年度	2	4.5%	坂東市、龍ヶ崎市
計画期間	1年間	2	4.5%	結城市、高萩市
	2年間	2	4.5%	鹿嶋市、守谷市
	4年間	4	9.1%	坂東市、古河市、取手市、 稲敷市
	5年間	35	79.5%	
	11年間	1	2.3%	行方市
総合計画への包含	意向あり(包含済含む)	5	11.4%	坂東市、龍ヶ崎市、神栖市、 大洗町、河内町
	意向不明	39	88.6%	

※内閣府調査を基に作成 (R01.08.01時点)